

Ethernet Board

PCIバス対応

10Mbps イーサネットボード

LD-PCITL

パッケージ内容を確認する	P6
製品の保証とユーザ登録	P7 ~ P8
本製品について	P9 ~ P10
各部の名称とはたらき	P11
コンピュータ本体に取り付ける	P12 ~ P13
WindowsXP でのセットアップ	P14
WindowsMe でのセットアップ	P15 ~ P18
Windows2000 でのセットアップ	P19 ~ P22
Windows98 でのセットアップ	P23 ~ P28
ドライバのアンインストール	P29 ~ P33
ネットワークの設定について	P34 ~ P45
アダプタのプロパティについて	P46 ~ P48
付録1 こんなときは	P49 ~ P55
付録2 仕様	P56

User's Manual

ご注意

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しましては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外国為替法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- 本製品は日本国内での使用を前提に製造されています。日本国外での使用による結果について弊社は一切の責任を負いません。また、本製品について海外での保守、サポートはおこなっておりません。
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®および™は省略させていただきました。

PCIバス対応
10Mbps イーサネットボード

LD-PCITL

User's Manual

ユーザーズマニュアル

はじめに

この度は、弊社ラニード製品PCIバス対応イーサネットボード"LD-PCITL"をお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには、"LD-PCITL"をコンピュータに導入するにあたっての手順が説明されています。また、お客様が安全に"LD-PCITL"を扱っていただくための注意事項が記載されています。コンピュータ本体への取り付け作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

●このマニュアルで使われている記号について

記号	意味
	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

 警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

警告



本製品の取り付け、取りはずしのときは、必ずコンピュータ本体と周辺機器の電源を切り、電源プラグをACコンセントから抜いて、作業をおこなってください。

電源プラグを抜かずに作業をすると火災や感電、故障の原因になります。



小さな子供のいるそばで、取り付け取りはずしの作業をおこなわないでください。また、子供のそばに工具や部品を置かないようにしてください。

けがや感電をしたり、部品を飲み込んだりする危険性があります。



本製品の取り付け、取りはずしのときは、必ずコンピュータ本体および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。



本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。



本製品を取り付けたコンピュータ本体から煙やへんな臭いがしたときは、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。

そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。



本製品を取り付けたコンピュータ本体に、水などの液体や異物が入った場合は、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。

そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。



本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。

火災や感電、故障の原因になります。

注意



コンピュータ本体のカバーや本製品の取り付け、取りはずしのときは慎重に作業をおこなってください。

強引な着脱は、機器の故障や、けがの原因になります。



本製品の取り付け、取りはずしのときは、本製品に触れる前に金属性のもの(スチールデスク、ドアのノブなど)に手を触れて、静電気を除去してから作業をおこなってください。

静電気は本製品の破損の原因になります。



本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を次のようなところで使用しないでください。

- ・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
- ・直射日光のあたるところ
- ・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
- ・静電気の発生するところ、火気の周辺



長期間、本製品を取り付けたコンピュータ本体を使用しないときは、電源プラグを抜いておいてください。

導入手順フロー

本製品を使用するまでの手順の流れを示します。

1 パッケージの内容を確認します。
(6 ページ)

2 ユーザ登録をします。
(7 ページ)

3 本製品を取り付けます。
(12 ページ)

4 Windows のプラグ&プレイ機能により、本製品を自動的に認識します。
本製品のドライバをインストールします。

WindowsXP :	14 ページ
WindowsMe :	15 ページ
Windows2000 :	19 ページ
Windows98 :	23 ページ

5 必要に応じてプロトコルやサービスを追加します。



Windows95/95OSR2/WindowsNTのドライバのインストール方法については、本製品付属のドライバディスクの「WIN95」、「WINNT」フォルダ内にある「win95.txt」、「win95B.txt」、「NT40.TXT」をそれぞれ参照してください。

もくじ

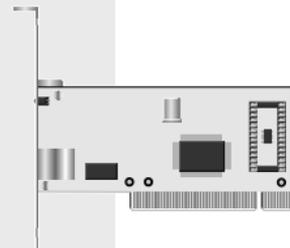
安全にお使いいただくために	2
導入手順フロー	4
もくじ	5
1 パッケージ内容を確認する	6
2 製品の保証とユーザ登録	7
製品の保証とサービス	7
ユーザサポートについて	8
3 本製品について	9
本製品の特長	9
動作環境	10
4 各部の名称とはたらき	11
5 コンピュータ本体に取り付ける	12
6 WindowsXPでのセットアップ	14
7 WindowsMeでのセットアップ	15
8 Windows2000でのセットアップ	19
9 Windows98でのセットアップ	23
10 ドライバのアンインストール	29
WindowsXPでのアンインストール	29
WindowsMe/98でのアンインストール	30
Windows2000でのアンインストール	32
11 ネットワークの設定について	34
WindowsXPのネットワーク設定例	34
WindowsMe/98でのピア・ツー・ピア環境の設定例	37
Windows2000のネットワーク設定例	39
12 アダプタのプロパティについて	46
プロパティを表示する	46
設定項目の詳細	48
付録 1 こんなときは	49
Laneedサポートセンターへ連絡する前に	55
付録 2 仕様	56

1 パッケージ内容を確認する

本製品のパッケージには、次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店または弊社ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。

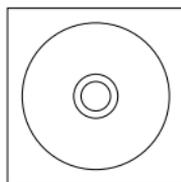
●イーサネットボード

LD-PCITL 1枚



●ドライバCD-ROM

CD-ROM 1枚



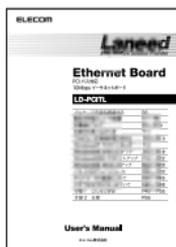
●ユーザ登録カード

はがき 1枚



●ユーザズマニュアル

1冊



●保証書



2 製品の保証とユーザ登録

製品の保証とサービス

本製品は、保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。ユーザサポートについては8ページをご覧ください。

■保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎても修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますので、ご注意ください。

- ・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

■修理の依頼

保証期間中に故障した場合には、故障した製品と保証書におよび修理依頼書(故障状況を記入したもの)を添えてご連絡ください。修理品のお問い合わせについては、エレコム修理センターまでお問い合わせください。

修理品ご送付先

- ・住所 〒192-0904 東京都八王子市子安町3-5-2
エレコム修理センター

なお、上記住所は修理品受付のみになります。

修理品についてのお問い合わせは、下記の連絡先をお願いします。

エレコム修理センター（お問い合わせ窓口）

- ・電話番号 0426-31-0271 ・FAX番号 0426-31-0272
- ・受付時間 月曜日～金曜日 9:00～12:00 13:00～17:00
(夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除く)

ユーザサポートについて

ユーザサポートは、ユーザ登録されているユーザの方を対象におこなっているサービスです。ユーザ登録されていない場合は、ユーザサポートを受けることができません。ユーザ登録は、ホームページ上でのオンライン登録とユーザ登録カードを送付する方法があります。

■ ホームページからのオンライン登録

ユーザ登録は、ホームページからオンライン登録できます。次のURLアドレスにアクセスし、必要事項を入力して登録してください。登録が完了すると、登録完了の電子メールが送信されます。なお、オンライン登録されますと、ユーザ登録カードを返送していただく必要はありません。登録された方には、電子メールで新製品情報、サポート情報をお届けします。

エレコム ホームページアドレス
<http://www.elecom.co.jp/>

■ Laned サポートセンター

本製品をお使いになっているときに、何らかのトラブルが起きたときや、操作方法や使いかたがわからなくなったときには、Lanedサポートセンターにご連絡ください。

- ・ 電話番号 03-3444-5571 ・ FAX番号 03-3444-8205
- ・ 受付時間 月曜日～金曜日 9:00～12:00 13:00～18:00
 (夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除く)

※FAXによる受信は、24時間受け付けています。

■ FAX 情報サービス

エレコム製品に関する最新情報を24時間いつでもFAXでお届けします。お近くの下記サービス情報BOXセンターにお電話をおかけください。ガイダンスにしたがって取り出したいBOX番号をご指示ください。

東京 03-3940-6000 / 大阪 06-6455-6000 / 名古屋 052-453-6000 /
 福岡 092-482-6000 / 札幌 011-210-6000 / 仙台 022-268-6000 /
 広島 082-223-6000

メインメニュー BOX 番号

5 5 9 9 0 0

※在庫・納期・価格などに関するお問い合わせは、各営業拠点へ
 お願いいたします。

※住所などについてはこのマニュアルの巻末に掲載してあります。

3 本製品について

本製品の特長や動作環境などを説明します。

本製品の特長

●ブロードバンドのパートナーに最適

取り扱いが簡単でリーズナブルな本製品は、インターネットのブロードバンド接続に必要なコンピュータ側のイーサネットボードとして最適です

●WindowsXPやWindows2000、WindowsMeに対応、Windowsのプラグ&プレイに対応

最新のOSであるWindowsXPにも対応していますので、最新の環境でも安心して導入できます。また、WindowsXPやWindows2000はもちろん、Windows98/Meのプラグ&プレイにも対応していますので、わずらわしいハードウェア設定の必要なしにコンピュータにセットアップすることができます。PCIバスに取り付けたあとでWindowsを起動すれば、あとはドライバをインストールするだけの簡単セットアップです。

●Full-Duplex対応で高速データ転送

Full Duplex(全二重モード)に対応。同じくFull Duplex対応のスイッチングHUBに接続すると、データの送信と受信を同時におこなえます。これにより、チャンネルの帯域幅が2倍に増大され効率のよい伝送路を持ったネットワーク環境が実現できます。さらに、CSMA/CDプロトコルの特長であるコリジョンの回避により、パフォーマンスの低下を防ぎます。

●豊富なドライバを提供するRealtekチップを採用

コントロールチップに豊富なドライバが提供されているRealtek製チップを採用しています。幅広い機種で安定した動作が期待できます。

動作環境

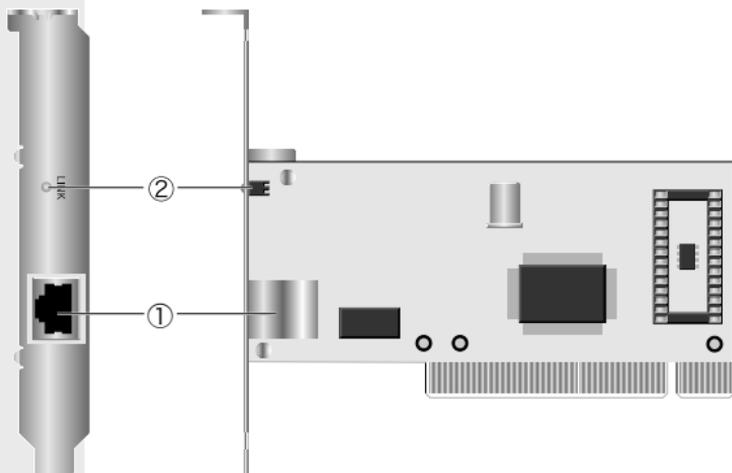
本製品は次の動作環境に対応しています。

対応機種	IBM PC および PC/AT 互換機 (DOS/V マシン)、NEC PC98-NX で下記の条件を満たす機種 (自作機は除く) <ul style="list-style-type: none">・ PCI バスの空きスロットがあること・ IRQ の空きがあること
対応 OS	WindowsXP, WindowsMe, Windows2000, Windows98, Windows95, WindowsNT4.0

※ ホームページにて、本製品に対する最新の対応 OS およびドライバのご案内をしています。

4 各部の名称とはたらき

LD-PCITLの各部の名称とはたらきを説明します。



①	RJ45 モジュラー ジャック (10BASE-T)	10BASE-T ケーブルの RJ45 モジュ ラープラグを接続します。
②	LED インジケータ (LINK)	HUB などの外部と正常に接続され、リ ンクが確立しているときに緑色に点灯 します。

5 コンピュータ本体に取り付ける

本製品をコンピュータ本体のPCIバスに取り付けます。コンピュータ本体の種類によっては、カバーの開けかたやPCIバスへの本製品の取り付けかたが異なります。ご使用になるコンピュータ本体のマニュアルに記載されているPCIバス用ボードの取り付け方法の説明も参考にしてください。

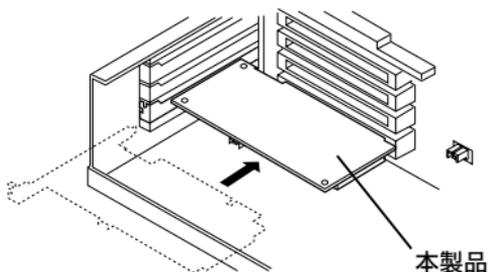


作業を始める前に、コンピュータ本体および周辺機器の電源プラグをACコンセントから必ず抜いてください。本製品の取り付け時に人体が内部回路に触れる場合があります。電源プラグを差し込んだままにしておくと、感電の原因になります。

- 1** コンピュータ本体および周辺機器の電源をOFFの状態にし、電源プラグがACコンセントから抜いてあることを確認します。
- 2** コンピュータ本体のカバーをはずします。
カバーのはずしかたについては、コンピュータ本体のマニュアルを参照してください。
- 3** 本製品を取り付けるPCIバススロットを決め、そのスロットカバーをはずします。
取り付けるPCIバススロットは32bitおよび64bitどちらのタイプでも構いません。
本製品を取り付けることができるだけのスペースがあるか、差し込んだ場合にマザーボード上のコネクタ類に接触しないか確認してください。
- 4** スロットカバーをはずしたPCIバススロットに、本製品をしっかりと差し込み固定します。
ゆがみのないように、ゆっくりとスロットの奥まで均一に差し込みます。



本製品を湾曲させた状態で無理に固定したり、マザーボード上のコネクタ類に接触した状態で本製品を固定すると、本製品やコンピュータ本体が故障する恐れがあります。



5 ネットワークケーブルを本製品に接続します。

6 コンピュータ本体のカバーを元に戻し、電源プラグをACコンセントに差し込みます。

- ・ WindowsXPをお使いの場合
 …………… 「WindowsXPでのセットアップ」 14ページ
- ・ WindowsMeをお使いの場合
 …………… 「WindowsMeでのセットアップ」 15ページ
- ・ Windows2000をお使いの場合
 …………… 「Windows2000でのセットアップ」 19ページ
- ・ Windows98をお使いの場合
 …………… 「Windows98でのセットアップ」 23ページ



Windows95/95OSR2/WindowsNTのドライバのインストール方法については、本製品付属のドライバディスクの「WIN95」、「WINNT」フォルダ内にある「win95.txt」、「win95B.txt」、「NT40.TXT」をそれぞれ参照してください。

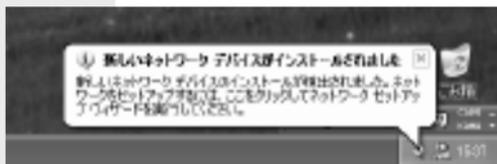
6 WindowsXPでのセットアップ

本製品は、WindowsXPのプラグ&プレイ機能に対応しています。本製品を取り付けて、WindowsXPを起動すると自動的にセットアップが開始されます。

WindowsMeやWindows2000、Windows98でセットアップする場合は、次のページを参照してください。

- ・ WindowsMeをお使いの場合
「WindowsMeでのセットアップ」15ページ
- ・ Windows2000をお使いの場合
「Windows2000でのセットアップ」19ページ
- ・ Windows98をお使いの場合
「Windows98でのセットアップ」23ページ

- 1 「5 コンピュータ本体に取り付ける」(12ページ)を参照して、本製品をコンピュータ本体のPCIバスに取り付けます。
- 2 コンピュータ本体の電源をONにしてWindowsを起動し、Administrator権限を持つユーザでログオンします。
- 3 WindowsXPが起動すると自動的に本製品が検出され、OS標準のドライバがインストールされます。
インストールが終了すると、画面右下のタスクトレイにインストール終了のメッセージが表示されます。



これで、WindowsXPのセットアップが完了しました。このあとは、使用するネットワーク環境に合わせて、ネットワークの設定を追加したり変更してください。また、34ページからWindowsXPのネットワーク設定例について説明しています。参考にしてください。

7 WindowsMe でのセットアップ

本製品は、WindowsMeのプラグ&プレイ機能に対応しています。本製品を取り付けて、WindowsMeを起動すると自動的にセットアップが開始されます。

WindowsXPやWindows2000、Windows98でセットアップする場合は、次のページを参照してください。

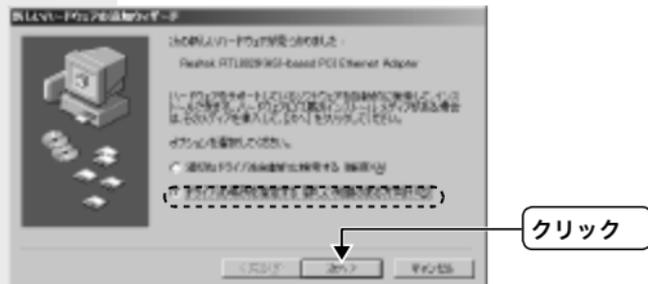
- ・ WindowsXPをお使いの場合
「WindowsXPでのセットアップ」14ページ
- ・ Windows2000をお使いの場合
「Windows2000でのセットアップ」19ページ
- ・ Windows98をお使いの場合
「Windows98でのセットアップ」23ページ



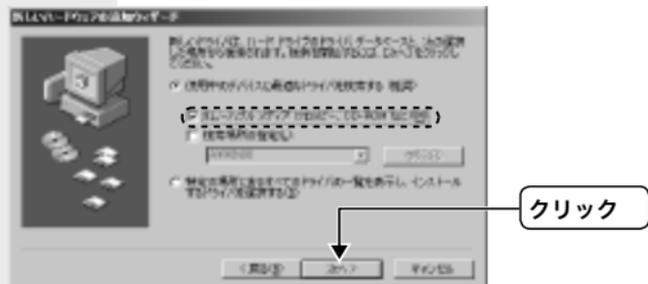
Windows95/95OSR2/WindowsNTのドライバのインストール方法については、本製品付属のドライバディスクの「WIN95」、「WINNT」フォルダ内にある「win95.txt」、「win95B.txt」、「NT40.TXT」をそれぞれ参照してください。

- 1** 「5 コンピュータ本体に取り付ける」(12ページ)を参照して、本製品をコンピュータ本体のPCIバスに取り付けます。
- 2** コンピュータ本体の電源をONにします。
Windowsが起動し、〈新しいハードウェアの追加ウィザード〉画面が表示されます。
- 3** コンピュータ本体のCD-ROMドライブに、本製品付属のCD-ROMを挿入します。

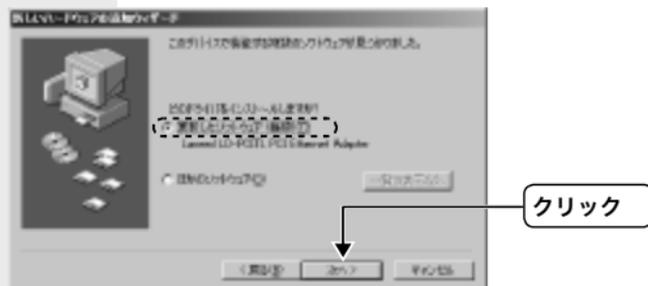
- 4 [ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)]ラジオボタンを選択して、**次へ>** をクリックします。



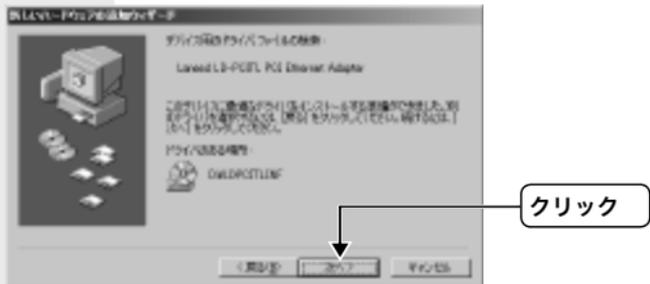
- 5 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]ラジオボタンを選択します。[リムーバブルディスク(フロッピー、CD-ROMなど)]チェックボックスをチェックして、**次へ>** をクリックします。



- 6 [更新したソフトウェア(推奨)]ラジオボタンを選択し、**次へ>** をクリックします。



7 ドライバ名、ドライバの場所を確認して、をクリックします。

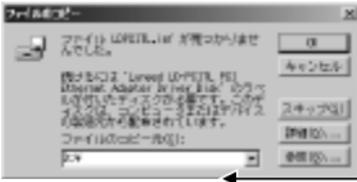


Memo

お使いの環境によっては、ファイルが見つかりませんといった内容の画面が表示されることがあります。この場合は、「ファイルのコピー元」の入力欄にCD-ROMドライブ名を指定します。

(例) CD-ROMドライブがDドライブの場合
(小文字でも可)

D:¥



ドライブ名を指定します。

すでにインストールされているファイルのほうが新しい場合は、そのファイルを上書きするか確認のメッセージが表示されます。このような場合は、日付の新しいファイルをそのまま使用するようにしてください。

8 をクリックします。



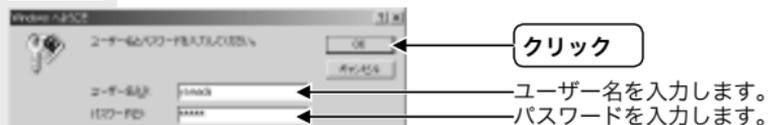
9 コンピュータのCD-ROMドライブから、本製品付属のCD-ROMを取り出します。

10 お使いの環境によっては、再起動を促すメッセージが表示されま す。 をクリックします。

Windowsが再起動します。



11 再起動すると、ネットワークへのログオン画面が表示されます。 をクリックします。



- ・ [ユーザー名]は必ず入力します。
- ・ 必要であれば[パスワード]を入力します。パスワードは忘れないようにしてください。

これで、WindowsMeのセットアップが完了しました。このあとは、使用するネットワーク環境に合わせて、ネットワークの設定を追加したり変更してください。また、37ページからWindowsMe/98でのピア・ツー・ピア環境の設定例について説明しています。参考にしてください。

8 Windows2000 でのセットアップ

本製品は、Windows2000のプラグ&プレイ機能に対応しています。本製品を取り付けて、Windows2000を起動すると自動的にセットアップが開始されます。

Windows98やWindowsMe、WindowsXPでセットアップする場合は、次のページを参照してください。

- ・ WindowsXPをお使いの場合
「WindowsXPでのセットアップ」14ページ
- ・ WindowsMeをお使いの場合
「WindowsMeでのセットアップ」15ページ
- ・ Windows98をお使いの場合
「Windows98でのセットアップ」23ページ



Windows95/95OSR2/WindowsNTのドライバのインストール方法については、本製品付属のドライバディスクの「WIN95」、「WINNT」フォルダ内にある「win95.txt」、「win95B.txt」、「NT40.TXT」をそれぞれ参照してください。

- 1 「5 コンピュータ本体に取り付ける」(12ページ)を参照して、本製品をコンピュータ本体のPCIバスに取り付けます。
- 2 コンピュータ本体の電源をONにしてWindowsを起動し、Administrator権限を持つユーザでログオンします。
- 3 新しいハードウェアを検出され、「Realtek RTL8129(AS)-based PCI Ethernet Adapter」が自動的にインストールされます。(このドライバでも正常に動作します。)
- 4 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択します。
コントロールパネルが表示されます。
- 5 [コントロールパネル]の[システム]アイコンをダブルクリックします。
(システムのプロパティ)画面が表示されます。
- 6 【ハードウェア】タブで、 をクリックします。
(デバイス マネージャ)画面が表示されます。

7 "ネットワークアダプタ"をダブルクリックすると表示される "Realtek RTL8129(AS) -based PCI Ethernet Adapter" を選択して右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
(Realtek RTL8129(AS) -based PCI Fast Ethernet Adapter のプロパティ)画面が表示されます。

8 【ドライバ】タブで、**ドライバの更新** をクリックします。
(デバイスドライバのアップグレードウィザード)画面が表示されます。

9 **次へ(N) >** をクリックします。
検索方法を選択する画面が表示されます。



10 コンピュータ本体のCD-ROMドライブに、本製品付属のCD-ROMを挿入します。

11 [デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]ラジオボタンを選択して、**次へ(N) >** をクリックします。



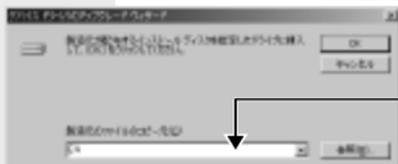
12 [場所を指定] チェックボックスをチェックして、 **次へ(N) >** をクリックします。



[場所を指定] チェックボックスをチェックします。

クリック

13 「製造元のファイルのコピー元」欄に本製品付属のCD-ROMを挿入したドライブ名を入力し、 **OK** をクリックします。



CD-ROMのドライブ名を入力します。

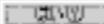
(例) CD-ROMドライブがEドライブの場合(小文字でも可)

E:¥

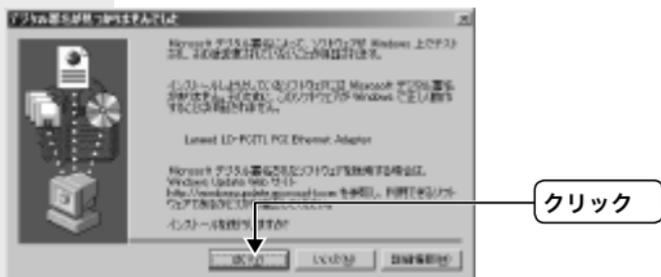
14 **次へ(N) >** をクリックします。
インストールを開始します。



クリック

15 「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示された場合は、
 をクリックします。

インストールを続行します。

**16** **完了** をクリックします。**17** コンピュータのCD-ROMドライブから、本製品付属のCD-ROMを取り出します。

これで、Windows2000のセットアップが完了しました。このあとは、使用するネットワーク環境に合わせて、ネットワークの設定を追加したり変更してください。また、39ページからWindows2000のネットワーク設定例について説明しています。参考にしてください。

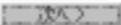
6 Windows98 でのセットアップ

本製品は、Windows98のプラグ&プレイ機能に対応しています。本製品を取り付けて、Windows98を起動すると自動的にセットアップが開始されます。

ここでは、Windows98SEの画面で説明していますが、Windows98をお使いの場合でも同様の手順でセットアップが完了します。

WindowsXPやWindowsMe、Windows2000でセットアップする場合は、次のページを参照してください。

- ・ WindowsXPをお使いの場合
「WindowsXPでのセットアップ」14ページ
- ・ WindowsMeをお使いの場合
「WindowsMeでのセットアップ」15ページ
- ・ Windows2000をお使いの場合
「Windows2000でのセットアップ」19ページ

- 7 「5 コンピュータ本体に取り付ける」(12ページ)を参照して、本製品をコンピュータ本体のPCIバスに取り付けます。
- 2 コンピュータ本体の電源をONにします。
Windowsが起動し、〈新しいハードウェアの追加ウィザード〉画面が表示されます。
- 3  をクリックします。
検索方法を選択する画面が表示されます。



クリック



コンピュータ名、ワークグループ名の入力を促されたときは

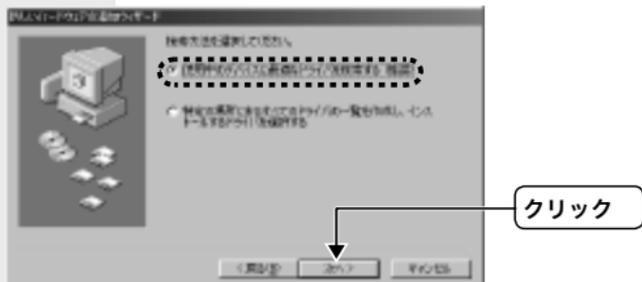
- ① [コンピュータ名]の入力を促すメッセージが表示されます。 **OK** をクリックします。
- ② **【識別情報】**タブから[コンピュータ名]と[ワークグループ名]を入力します。



コンピュータ名	インストール中のコンピュータに与える名称を設定します。一般的には、個人単位で使うコンピュータならユーザの名前、部署単位で扱うコンピュータなら部署名などを入力します。
ワークグループ名	インストール中のコンピュータが接続されているネットワークのグループ名を設定します。同一ネットワーク上のコンピュータのワークグループ名はすべて同じになります。

- ③ **OK** をクリックします。

- 4 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]ラジオボタンを選択して、**次へ>**をクリックします。
ドライバの場所を選択する画面が表示されます。



- 5 コンピュータ本体のCD-ROMドライブに、本製品付属のCD-ROMを挿入します。

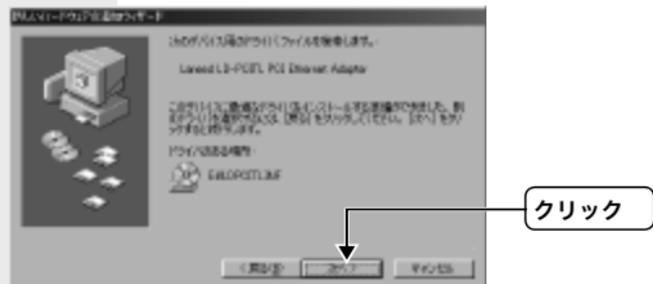
- 6 「CD-ROMドライブ」のみチェックし、**次へ>**をクリックします。
ドライバを検索する画面が表示されます。



- 7 [更新したソフトウェア(推奨)]ラジオボタンを選択し、**次へ>**をクリックします。



- 8 ドライバ名、ドライバの場所を確認して、**次へ>**をクリックします。



Memo

すでにインストールされているファイルのほうが新しい場合は、そのファイルを上書きするか確認のメッセージが表示されます。このような場合は、日付の新しいファイルをそのまま使用するようしてください。

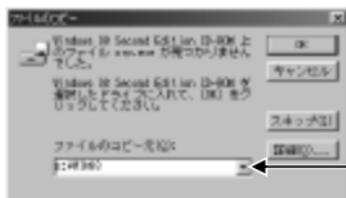
- 9 お使いの環境によっては、Windows98のCD-ROMを挿入するようにメッセージが表示されます。

Windows98のバージョンによって、表示されるメッセージは異なります。表示されるCD-ROMを挿入し、**OK**をクリックしてください。





Windows98のCD-ROMが入ったドライブを指定するための画面が表示されたときは、「ファイルのコピー元」の入力欄にCD-ROMを挿入したドライブ名を指定し、ドライブ名のあとに「WIN98」フォルダを指定します。



ドライブ名のあとに「WIN98」フォルダを指定します。

(例)CD-ROMドライブがEドライブの場合(小文字でも可)

E:¥WIN98

すでにインストールされているファイルのほうが新しい場合は、そのファイルを上書きするか確認のメッセージが表示されます。このような場合は、日付の新しいファイルをそのまま使用するようにしてください。

10 手順9でWindowsのディスクを使用した場合、ドライバディスクを挿入するようにメッセージが表示されます。

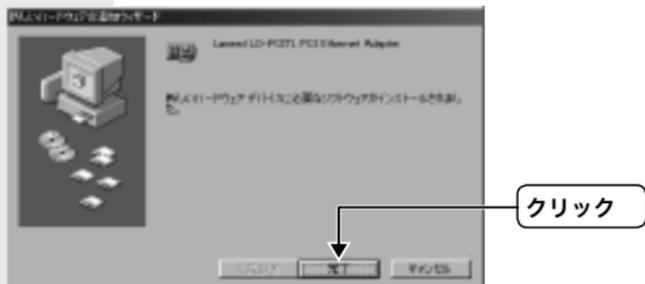


ファイルが見つかりませんといった内容の画面が表示されることがあります。この場合は、「ファイルのコピー元」の入力欄にCD-ROMドライブ名を指定し、ドライブ名のあとに「WIN98」フォルダを指定します。

(例)CD-ROMドライブがEドライブの場合
(小文字でも可)

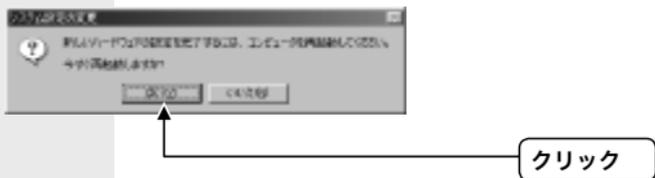
E:¥WIN98

11 **完了** をクリックします。



12 コンピュータのフロッピーディスクドライブから、本製品付属のフロッピーディスクを取り出します。

13 お使いの環境によっては、再起動を促すメッセージが表示されず。**再起動** をクリックします。
Windowsが再起動します。



これで、Windows98のセットアップが完了しました。このあとは、使用するネットワーク環境に合わせて、ネットワークの設定を追加したり変更してください。また、37ページからWindowsMe/98でのピア・ツー・ピア環境の設定例について説明しています。参考にしてください。

10 ドライバのアンインストール

各OSごとに本製品のドライバのアンインストールについて説明します。

WindowsMe/2000/98の場合は、ドライバを完全にアンインストールするには、ドライバを削除したあとで、ドライバ情報を削除する必要があります。

● アンインストール作業をはじめる前に

次の手順で、すべてのファイルと拡張子が表示できるようにしておいてください。

1 WindowsXPの場合は、[スタート]→[マイコンピュータ]をクリックします。

WindowsMe/2000/98の場合は、[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックします。

〈マイコンピュータ〉画面が表示されます。

2 メニューから[ツール]→[フォルダオプション]をクリックします。 〈フォルダオプション〉画面が表示されます。

3 【表示】タブで、「登録されているファイルの拡張子は表示しない」のチェックを外し、「すべてのファイルとフォルダを表示する」をチェックします。

すべてのファイルと拡張子が表示できるようになりました。

WindowsXPでのアンインストール

1 スタートメニューから「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

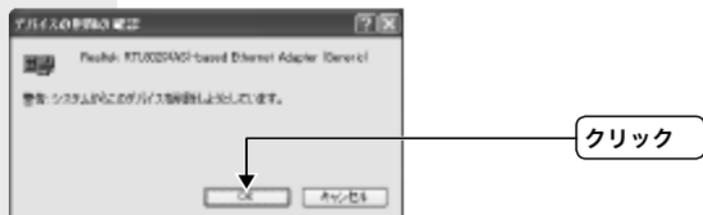
〈システムのプロパティ〉画面が表示されます。

2 【ハードウェア】タブで、 をクリックします。 〈デバイスマネージャ〉画面が表示されます。

3 "ネットワークアダプタ"をダブルクリックすると表示される "Realtek RTL 8029(AS) -based Ethernet Adapter (Generic)" を選択して右クリックし、「削除」をクリックします。 〈デバイスの削除の確認〉画面が表示されます。



- 4** をクリックします。
ドライバが削除されます。

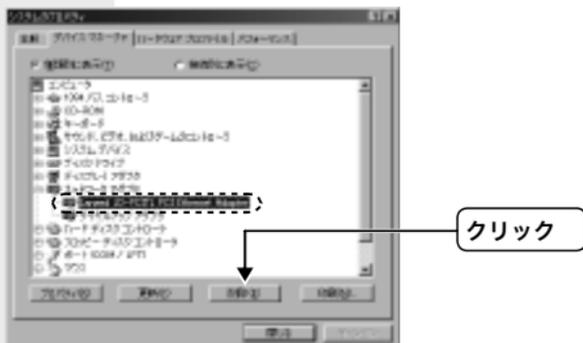


これでドライバのアンインストールは完了です。

WindowsMe/98 でのアンインストール

- 1** [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択します。
コントロールパネルが表示されます。
- 2** [コントロールパネル]の[システム]アイコンをダブルクリックします。
(システムのプロパティ)画面が表示されます。
- 3** 【デバイスマネージャ】タブで、"ネットワークアダプタ"をダブルクリックし、"Lanead LD-PCITL PCI Ethernet Adapter"を選択し、 をクリックします。

〈デバイス削除の確認〉画面が表示されます。



4 **OK** をクリックします。

ドライバが削除されます。



5 再起動を促すメッセージが表示されます。 **はい** をクリックします。

6 ドライバ情報"ELECOMLDP-CITL.INF"を削除します。

ファイルの場所: C:\Windows\Inf\Other\ELECOMLDP-CITL.INF
(Windows Me/98をCドライブにインストールしている場合)



ドライバ情報を削除するときに、他のファイルを誤って削除したり、手を加えないでください。重大なトラブルの原因になります。

これでドライバのアンインストールは完了です。

Windows2000でのアンインストール

Windows2000にはAdministrator権限でログオンしておきます。

- 1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択します。
コントロールパネルが表示されます。
- 2 [コントロールパネル]の[システム]アイコンをダブルクリックします。
(システムのプロパティ)画面が表示されます。
- 3 【ハードウェア】タブで、 **デバイス マネージャ** をクリックします。
(デバイスマネージャ)画面が表示されます。
- 4 "ネットワークアダプタ"をダブルクリックすると表示される
"Laneed LD-PCITL PCI Ethernet Adapter"を選択して右クリックし、「削除」をクリックします。
(デバイスの削除の確認)画面が表示されます。



- 5 **OK** をクリックします。



ドライバが削除されます。

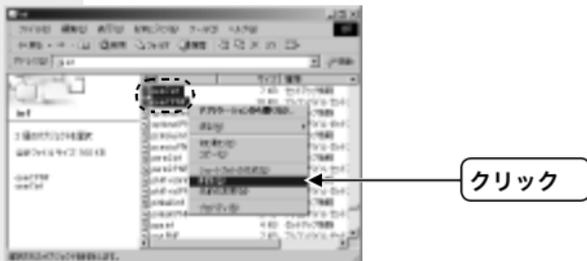
確認メッセージが表示されたときは、 **OK** をクリックします。

6 ドライバ情報を削除します。

- ① [スタート]→[検索]→[ファイルやフォルダ]を選択します。
- ② 検索条件の「含まれる文字列」に"LDPCITL"、「探す場所」に"C:¥winnt¥inf"を入力して、をクリックします。
(Windows2000をCドライブにインストールしている場合)
検索結果に"oem*.inf"および"LDPCITL.inf"が表示されます。
("*"は数字です。この数字はお使いのパソコンの環境によって異なります。)



- ③ 手順②で見つかった"oem*.inf"と同じファイル名で拡張子が.PNFの"oem*.PNF"の2つのファイルおよび"LDPCITL.inf"を"C:¥winnt¥inf"の中から探して削除します。



ドライバ情報を削除するとき、他のファイルを誤って削除したり、手を加えないでください。重大なトラブルの原因になります。

これでドライバのアンインストールは完了です。

11 ネットワークの設定について

各OSごとに簡単なネットワークの設定例について説明します。お使いのOS、使用するネットワーク環境に合わせて、ネットワークの設定を追加したり変更してください。

WindowsXP のネットワーク設定例

- 1 [スタート]→[コントロールパネル]を選択します。
コントロールパネルが表示されます。
- 2 [ネットワークとインターネット接続]をクリックします。
〈ネットワークとインターネット接続〉画面が表示されます。
- 3 [ネットワーク接続]をクリックします。
〈ネットワーク接続〉画面が表示されます。
- 4 [ローカルエリア接続]アイコンを右クリックし、メニューから[プロパティ]を選択します。
〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面が表示されます。



[ローカルエリア接続]の名称は、アダプタをインストールした環境によって変わります。〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面に表示されるアダプタ名から、ネットワークを設定するアダプタであるかを確認してください。

- 5 「この接続は次の項目を使用します」欄に、「Microsoft ネットワーク用クライアント」が表示されているか確認します。
インストールされていても、チェックマークがついていなければネットワークを使えません。名前の先頭にあるチェックボックスをチェックしてください。



ここをチェック

表示されていないときは、「Microsoft ネットワーク用クライアント」をインストールします。

- ① 〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面で、**インストール** をクリックします。
〈ネットワークコンポーネントの種類を選択〉画面が表示されます。
- ② [クライアント] を選択し、**進む** をクリックします。
ネットワーククライアントの選択画面が表示されます。
- ③ 「Microsoft ネットワーク用クライアント」を選択し、**OK** をクリックします。
「この接続は次の項目を使用します」欄に「Microsoft ネットワーク用クライアント」が追加されます。

6 スタートメニューから[マイコンピュータ]を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

7 【コンピュータ名】タブで、**変更** をクリックします。
〈コンピュータ名の変更〉画面が表示されます。

8 コンピュータ名とワークグループ名を設定し、**OK** をクリックします。
表示されているコンピュータ名とワークグループ名から変更する必要がない場合は、**キャンセル** をクリックします。



9 名称を変更すると確認メッセージ(コンピュータ名とワークグループ名の両方を変更した場合は2回)が表示されます。
 をクリックします。

10 <システムのプロパティ>画面で、 をクリックします。

11 再起動を促すメッセージが表示されます。 をクリックします。
再起動すると、今回設定した内容が有効になります。

これで基本的なネットワーク設定は完了です。この他、同じ要領で実際の環境に合わせた設定をおこなってください。



ファイルやプリンタを共有するには、ネットワークが有効になってから次の手順で共有設定をおこなってください。

- ①共有したいファイルのあるフォルダやプリンタのアイコンを右クリックし、メニューを表示します。
- ②メニューから[共有とセキュリティ]を選択し、必要な事項を設定します。

WindowsMe/98 でのピア・ツー・ピア環境の設定例

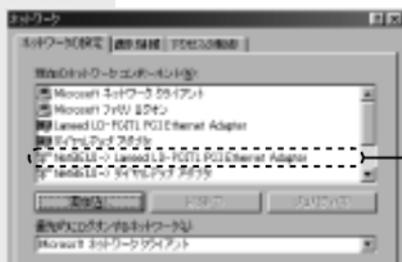
ここでは、WindowsMe/98のネットワークでよく利用されるピア・ツー・ピア環境の設定例を説明します。実際の画面上の表示されるネットワークコンポーネント(サービス、プロトコルなど)は、ご使用の環境により異なります。

- 1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択します。
コントロールパネルが表示されます。
- 2 [ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。
<ネットワーク>画面が表示されます。
- 3 <ネットワーク>画面の【ネットワークの設定】タブにある  をクリックします。
<ネットワークコンポーネントの選択>画面が表示されます。



ご使用の環境により表示項目は異なります。

- 4 [プロトコル]を選択し、  をクリックします。
<ネットワークプロトコルの選択>画面が表示されます。
- 5 [製造元]で"Microsoft"を選択し、[ネットワークプロトコル]で"NetBEUI"を選択します。続いて  をクリックします。
[現在のネットワークコンポーネント]に"NetBEUI"が追加されます。



追加されたプロトコル

- 6** 手順**3**と同様に、〈ネットワーク〉画面で **通知** をクリックします。

〈ネットワークコンポーネントの選択〉画面が表示されます。

- 7** [サービス]を選択し、 **通知** をクリックします。

〈ネットワークサービスの選択〉画面が表示されます。

- 8** [モデル]で"Microsoft ネットワーク共有サービス"を選択します。続いて **OK** をクリックします。

[現在のネットワークコンポーネント]に"Microsoft ネットワーク共有サービス"が追加されます



追加されたサービス

- 9** 「優先的にログオンするネットワーク」が「Microsoft ネットワーククライアント」になっているか確認します。

異なる場合は変更してください。



「優先的にログオンするネットワーク」が「Microsoft ネットワーククライアント」になっているか確認します。異なる場合は、変更してください。

- 10** **ファイルとプリンタの共有(E)...** をクリックし、開いた画面で"ファイルを共有..." "プリンタを共有..."を両方ともチェックし、 **OK** をクリックします。

- 11** 〈ネットワーク〉画面の【識別情報】タブをクリックします。

- 12** 内容を確認し、変更が必要な場合は[コンピュータ名]と[ワークグループ]を入力し、 をクリックします。
 項目の意味については、24ページの「Memo」を参照してください。
 ディスクの挿入を促すメッセージが表示されたときは、ディスクを挿入します。詳細については、26ページの手順9を参照してください。
- 13** 再起動を促すメッセージが表示されます。 をクリックします。
 再起動すると、今回設定した内容が有効になります。



ファイルやプリンタを共有するには、ネットワークが有効になってから次の手順で共有設定をおこなってください。

- ① 共有したいファイルのあるフォルダやプリンタのアイコンを右クリックし、メニューを表示します。
- ② メニューから[共有]を選択し、必要な事項を設定します。

Windows2000のネットワーク設定例

● Windows2000でネットワークするための設定

Windows2000にはAdministrator権限でログオンしておきます。

- 1** [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択します。
 コントロールパネルが表示されます。
- 2** [ネットワークとダイヤルアップ接続]アイコンをダブルクリックします。
 〈ネットワークとダイヤルアップ接続〉画面が表示されます。
- 3** [ローカルエリア接続]を右クリックし、メニューから[プロパティ]を選択します。
 〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面が表示されます。



[ローカルエリア接続]の名称は、アダプタをインストールした環境によって変わります。〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面に表示されるアダプタ名から、ネットワークを設定するアダプタであるかを確認してください。

4 [インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択し、**プロパティ**をクリックします。

〈インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ〉画面が表示されます。



インターネットプロトコル(TCP/IP)を選択

5 IPアドレスに関する設定をします。



- ・DHCPサーバ(機能)を使用している場合は、「IPアドレスを自動的に取得する」を選択します。
- ・DHCPサーバ(機能)を使用していない場合は、「次のIPアドレスを使う」を選択し、IPアドレスとサブネットマスクを入力します。「デフォルトゲートウェイ」と「DNSサーバ」はルータなどを使用してLANを超える場合に使用する項目ですので、ここでは入力していません。

6 IPアドレスの設定が終われば、**詳細設定**をクリックします。

〈TCP/IP 詳細設定〉画面が表示されます。

- 7** 【WINS】タブで、「NetBIOS over TCP/IPを有効にする」ラジオボタンを選択して、**OK** をクリックします。
 (インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ)画面に戻ります。

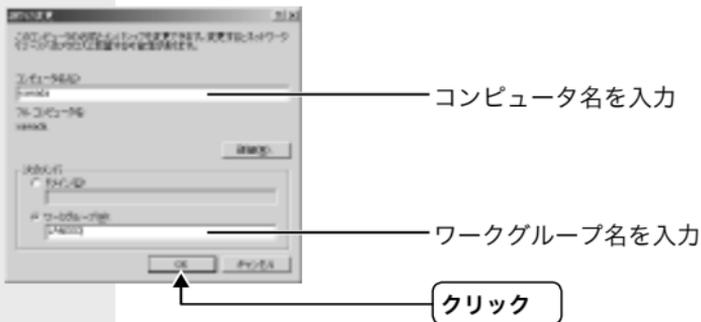


- 8** (インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ)画面→(ローカルエリア接続のプロパティ)画面で、それぞれ **OK** をクリックして画面を閉じます。さらに(ネットワークとダイヤルアップ接続)画面を閉じます。

- 9** [コントロールパネル]の[システム]アイコンをダブルクリックします。
 (システムのプロパティ)画面が表示されます。

- 10** 【ネットワークID】タブで、**プロパティ** をクリックします。
 (識別の変更)画面が表示されます。

- 11** コンピュータ名とワークグループ名を設定し、**OK** をクリックします。
 表示されているコンピュータ名とワークグループ名から変更する必要がない場合は、**キャンセル** をクリックします。



12 名称を変更すると確認メッセージ(コンピュータ名とワークグループ名の両方を変更した場合は2回)が表示されます。 **OK** をクリックします。

13 <システムのプロパティ>画面で、 **OK** をクリックします。

14 再起動を促すメッセージが表示されます。 **はい** をクリックします。

再起動すると、今回設定した内容が有効になります。

これで基本的なネットワーク設定は完了です。この他、同じ要領で実際の環境に合わせた設定をおこなってください。

Windows2000のユーザ登録例

Windows2000をインストールしたコンピュータにアクセスできるようにするには、あらかじめ、アクセスを許可するユーザを登録しておく必要があります。

ここでは、ユーザの登録例を説明します。

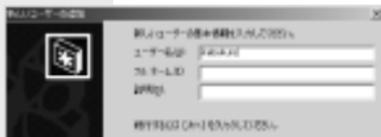
1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択します。
コントロールパネルが表示されます。

2 [ユーザーとパスワード]アイコンをダブルクリックします。
<ユーザーとパスワード>画面が表示されます。

3 **通知...** をクリックします。
<新しいユーザーの追加>画面が表示されます。

4 アクセスを許可するユーザの名称を入力し、 **決定** をクリックします。

ユーザ名は各コンピュータのコントロールパネルにある「ネットワーク」の「識別情報」(Windows98/Meの場合)などで設定している名称です。



5 パスワードを入力し、 **OK** をクリックします。

Windows98/MeのMicrosoftネットワークログオンでパスワードを入力しなかった場合は、入力の必要はありません。

**6** 登録したユーザに許可するグループを指定し、 **完了** をクリックします。

〈ユーザーとパスワード〉画面に戻ります。

「このコンピュータのユーザー」の一覧に、追加したユーザが登録されます。

**7** 〈ユーザーとパスワード〉画面で **OK** をクリックします。

これで登録したユーザがアクセスを許可されるようになります。

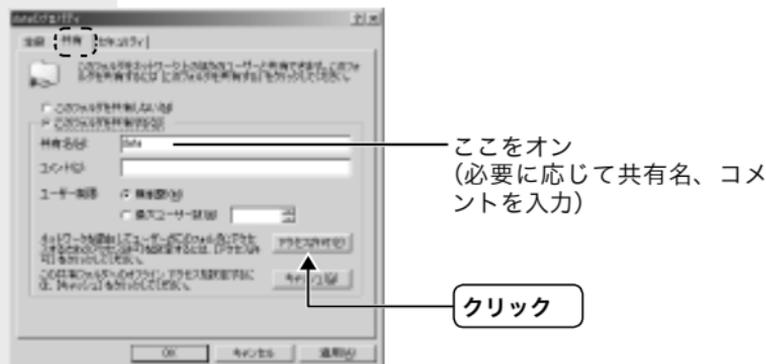
Windows2000の共有フォルダの設定例

Windows2000上のフォルダやドライブにアクセスできるように共有設定をおこないます。Windows2000は、アクセス権の設定がWindows98/Meに比べて詳細になっています。また、NTFSフォーマットでドライブをフォーマットしている場合は、さらにセキュリティ設定が必要になります。

7 共有したいフォルダを右クリックし、メニューから[プロパティ]を選択します。

フォルダのプロパティが表示されます。

- 2** 【共有】タブで「このフォルダを共有する」ラジオボタンを選択し、**アクセス許可** をクリックします。
必要に応じて共有名、コメントを入力します。



- 3** 「フルコントロール」に設定されていることを確認し、**OK** をクリックします。
NTFSフォーマットでは、【セキュリティ】タブでアクセス権を設定します。
FATフォーマットの場合は、この画面で **通知...** をクリックし、アクセスを許可するユーザまたはユーザグループを設定します。



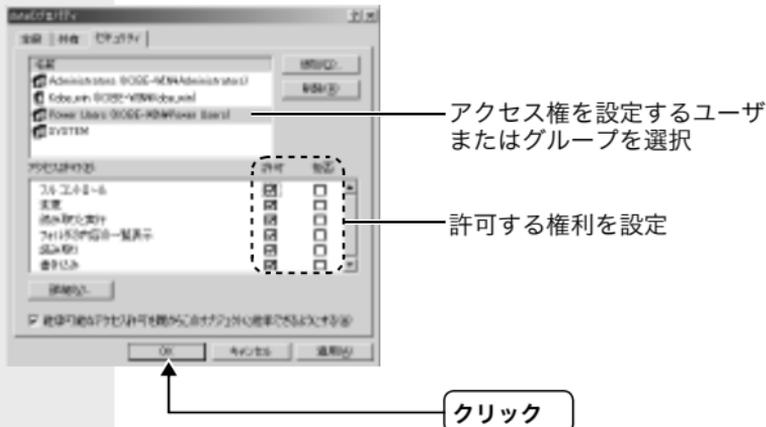
- 4** 【セキュリティ】タブを選択し、**通知...** をクリックします。
(ユーザー、コンピュータ、またはグループの選択)画面が表示されます。

- 5 一覧から登録するユーザまたはグループを選択し、**追加...** をクリックします。
 「名前」にユーザまたはグループ名が登録されます。
 【セキュリティ】タブに戻ります。



グループとして追加すると、グループに参加しているユーザは全て同一の条件でこのフォルダを参照できます。

- 6 【セキュリティ】タブの「名前」の一覧でアクセス権を設定するユーザまたはグループを選択し、「アクセス許可」の一覧で許可する内容を設定します。設定が終われば、**OK** をクリックします。



これで登録したユーザの共有フォルダへのアクセス権が設定できました。

12アダプタのプロパティについて

アダプタのプロパティについて説明します。初期値は一般的に最適な状態に設定されていますので、通常は変更しないでください。

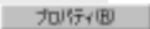
プロパティを表示する

アダプタのプロパティを表示します。

●WindowsXPの場合

- 1 スタートメニューから「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
〈システムのプロパティ〉画面が表示されます。
- 2 【ハードウェア】タブを選択して、 をクリックします。
〈デバイスマネージャ〉画面が表示されます。
- 3 "ネットワークアダプタ"をダブルクリックすると表示される "Realtek RTL 8029(AS) -based Ethernet Adapter (Generic)" をダブルクリックします。
〈Realtek RTL8029(AS) -based Ethernet Adapter (Generic) のプロパティ〉画面が表示されます。
- 4 【詳細設定】タブを選択します。
設定画面が表示されます。

●WindowsMe/98の場合

- 1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択します。
コントロールパネルが表示されます。
- 2 [ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。
〈ネットワーク〉画面が表示されます。
- 3 〈ネットワーク〉画面の【ネットワークの設定】タブから、"Laneed LD-PCITL PCI Ethernet Adapter" を選択し、 をクリックします。
- 4 【詳細設定】タブを選択します。
設定画面が表示されます。

●Windows2000の場合

- 1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択します。
コントロールパネルが表示されます。
- 2 [システム]アイコンをダブルクリックします。
(システムのプロパティ)画面が表示されます。
- 3 【ハードウェア】タブを選択して、  をクリック
します。
(デバイスマネージャ)画面が表示されます。
- 4 "ネットワークアダプタ"をダブルクリックすると表示される
"Laneed LD-PCITL PCI Ethernet Adapter"をダブルクリッ
クします。
(Laneed LD-PCITL PCI Ethernet Adapterのプロパティ)画面
が表示されます。
- 5 【詳細設定】タブを選択します。
設定画面が表示されます。

設定項目の詳細

プロパティの項目を選択すると、右側の内容が項目にあわせて切り替わりますので、設定を変更します。ここでは、Windows98の項目で説明していますが、他のOSでも同様の設定項目です。

項目	説明	初期値
Duplex Mode	フルデュプレックス(全二重)またはハーフデュプレックス(半二重)のどちらの環境で使用するか指定します。	Half Duplex (Default)
Line Speed	Duplex Mode」で「Full Duplex」を選択した場合は「TP Full Duplex」を、「Half Duplex」を選択した場合は「TP Half Duplex」を指定します。	TP Half Duplex

付録1 こんなときは

- 本製品をコンピュータに取り付けたところ、コンピュータ本体が全く起動しなくなった。

現在のご使用中のコンピュータですでに使用しているIRQ、I/Oポートアドレスと本製品のIRQが競合しているか、コンピュータに本製品を使用するために必要なIRQの空きがないものと考えられます。コンピュータ本体のマニュアルなどを参考にして、IRQ、I/Oポートアドレスの空きを確保してください。

- ACTランプが点灯しない。

- ・HUBなどにケーブルが正しく接続されているかを確認してください。HUBに接続している場合、ストレートケーブルで接続していますか？
- ・コンピュータ本体どうしを直結している場合、クロスケーブルで接続していますか？

- Windows98でプラグ&プレイでセットアップしたが、本製品を正常に認識できない。

お使いのコンピュータでIRQが競合しているか、IRQの空きがないことが原因と考えられます。

IRQに空きがないと、本製品をプラグ&プレイの状態でご使用いただくことはできません。コンピュータ本体のマニュアルなどを読んで、IRQの使用状況を確認してください。

- ・WindowsXP上での使用可能なIRQの確認方法

メニューバーの[スタート]→[マイコンピュータ]を右クリック→[プロパティ]を選択でシステムのプロパティ画面を表示し、→[ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャー]ボタンをクリックしてデバイスマネージャ画面を表示します。次に[表示]→[リソース(種類別)]または[リソース(接続別)]を選択します。一覧の「割り込み要求(IRQ)」をダブルクリックするとIRQ一覧を表示します。この一覧からIRQを確認します。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークコンピュータを開くと「ネットワークを参照できません。」というエラーが表示される。

- ① 正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。もう一度、本製品の設定を確認し、OS側が本製品を正常に認識しているか調べてください。
 - ・ WindowsXP上で本製品が正常に動作しているかを確認する方法
メニューバーの[スタート]→[マイコンピュータ]を右クリック→[プロパティ]を選択でシステムのプロパティ画面を表示し、→[ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャ]ボタンをクリックしてデバイスマネージャ画面を表示します。[その他のデバイス]の項目があれば、ダブルクリックし、ドライバ名を確認してください。もし本製品のドライバが組み込まれていたら削除して再起動してください。
 - ・ WindowsMe/98上で本製品が正常に動作しているかを確認する方法
メニューバーの[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]→[デバイスマネージャ]で[その他のデバイス]の項目があれば、ダブルクリックし、ドライバ名を確認してください。もし本製品のドライバが組み込まれていたら削除して再起動してください。
 - ・ Windows2000上で本製品が正常に動作しているかを確認する方法
メニューバーの[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]→[ハードウェア]→[デバイスマネージャ]で[その他のデバイス]の項目があれば、ダブルクリックし、ドライバ名を確認してください。もし本製品のドライバが組み込まれていたら削除して再起動してください。
- ② ケーブル、HUBなどを確認してください。
(現在、正常に動作しているケーブルがあれば交換してみてください。HUBの接続ポートを変更してください。)
- ③ 可能であれば、本製品を取り付けているPCIバススロットを変更してください。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークを参照できない。もしくは、使用しているコンピュータしか表示されない。

- ① ネットワーク接続に必要なプロトコル、クライアント、サービスなどの設定が、使用するネットワーク環境に合った設定になっているかを確認してください。
- ② [スタート]→[検索]の[ほかのコンピュータ]を起動し、ターゲットのコンピュータのコンピュータ名を入力し検索してみてください。

●本製品を設定すると、フロッピーディスクまたはCD-ROMを要求される。

ネットワークの設定に必要なファイルは、弊社提供のドライバの他にWindows側で提供されているファイルも含まれています。このような場合は、表示されるメッセージに従って、WindowsのCD-ROMディスクをCD-ROMドライブにセットし、そのドライブのパスを指定してください。

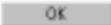
例① WindowsXP/2000の場合
〈CD-ROMのドライブ名〉: ¥i386

例② WindowsMe/98の場合
〈CD-ROMのドライブ名〉: ¥WIN9X または WIN98

●WindowsMe/98でネットワークに接続したが、ファイルやプリンタの共有ができない。

ネットワークには接続できて相手側へ入れるようになったが、相手側のドライブやプリンタの使用ができないときは次の点を確認してください。

- ① [ネットワークコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]→[ネットワーク構成の一覧]に「Microsoft ネットワーク共有サービス」が組み込まれているかを確認してください。組み込まれていない場合は[ファイルとプリンタの共有]のチェックボックスをクリックしてチェックし、 をクリックしてください。

- ②共有したいフォルダやプリンタに共有設定をおこなっているかを確認してください。共有の方法は次のようにしてください。
- ・共有したいフォルダやプリンタで右クリックをしてメニューを表示します。
 - ・共有という項目を選択し、「共有しない」になっている設定を「共有する」に変更して  をクリックしてください。

●Windows98で、「DHCPサーバーが見つかりません」と表示される。

このメッセージはエラー表示ではありません。使用しているネットワーク環境で「DHCPサーバ」が存在しない場合に表示されます。DHCPサーバとは、ネットワークプロトコルとしてTCP/IPを使用する場合、各コンピュータに必要なIPアドレスを自動的に割り当てるサーバです(通常はWindowsNTサーバやルータが設定により、必要なIPアドレスを自動的に割り当てています)。Windows98環境のネットワークでTCP/IPを使用した場合の初期設定では「DHCPサーバ」を使用して、IPアドレスを割り当てるようになっていています。使用しているネットワーク環境にDHCPサーバが存在しない場合や見つからない場合に、上記メッセージが表示されます。実際にDHCPサーバを設定していない場合は、このメッセージが表示されたとき、今後このメッセージを表示しないように[NO]をクリックしてください。また、TCP/IPの設定をおこなう場合は特別知識を必要とすることもあります。IPアドレスの設定がわからないときはシステム管理者に相談するか、TCP/IPのプロトコルを使用しないでネットワークを構築してください。ただし、TCP/IPを使用しない場合は、他のプロトコル(NetBEUIなど)を追加してください。

●Windows98SEの場合、レジューム後ネットワークに接続できない。

Windows98SEをお使いの場合でネットワークプロトコルにNetBEUIのみを使用したネットワークを構築している場合、スタンバイの際にMicrosoftネットワーククライアントなどのモジュールが正常にスタンバイ処理されないため、レジューム後ネットワークに接続できなくなります。TCP/IPなど、ほかのネッ

トワークプロトコルを追加して使用してください。
これは、本製品の不良ではなく、Windows98SEによるものです。
詳しくはMicrosoft社のサポート技術情報をご覧ください。

● サポート技術情報

<http://www.microsoft.com/japan/support/>

● W98SE:スタンバイ/レジューム後ネットワークに接続できなくなる

<http://www.microsoft.com/japan/support/kb/articles/J050/6/51.htm>

前ページの方法でも問題が解決しない場合は、Laneedサポートセンターへ連絡してください。

Laneed サポートセンターへ連絡する前に

Laneedサポートセンターにご連絡いただく際には、迅速にサポートができるように、次の内容を事前に調査・確認していただいた上でご連絡いただきますようお願いいたします。

ご連絡いただく際には、不具合の発生する端末もしくはHUBの前から連絡いただきますと、スムーズにサポートがおこなえます。

ネットワークの環境について確認します。

- ・ 使用しているOSとバージョン
- ・ 使用しているネットワークアダプタのメーカー名、型番、設定内容、使用しているケーブルの種類、メーカー名、ネットワーク構成や、ネットワークに接続しているパソコンの台数

不具合の状況について確認します。

- ・ 本製品のLEDインジケータ(LINK)や、接続しているネットワークアダプタのリンクランプの状態はどうなっていますか。

以上の内容を確認の上、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

付録2仕様

商品名	PCIバス対応 10Mbps イーサネットボード
製品型番	LD-PCITL
規格	IEEE802.3 標準
メディアタイプ	10BASE-T
伝送速度	10Mbps、
対応バス	PCIバス 2.1
割り込みレベル	自動設定 (WindowsNT4.0を除く)
I/Oポートアドレス	自動設定 (WindowsNT4.0を除く)
LED	LINK (緑:データの送受信)
消費電力	2.5W (最大)
環境条件	動作時: 温度 0～55℃ 湿度 10～90% 保存時: 温度-10～70℃ 湿度 5～90% (結露なきこと)
対応機種	IBM PC および PC/AT 互換機 (DOS/V)、 NEC PC98-NX シリーズで以下の条件を満たすもの (自作機および同等のものは除く) ・ PCIバスの空きスロットがあること ・ IRQの空きがあること
対応 OS	WindowsXP、WindowsMe、Windows2000、 Windows98、Windows95、WindowsNT4.0
付属品	ドライバディスク 1 枚、ユーザーズマニュアル、 ユーザ登録カード / 保証書

PCIバス対応10Mbps イーサネットボード
LD-PCITL

User's Manual
発行 エレコム株式会社
2002年8月22日 第2版

LD-PCITL

Laneed

ELECOM